

研究・調査報告書

報告書番号	担当
298	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Resveratrol-induced gene expression profiles in human prostate cancer cells. ヒト前立腺癌細胞でレスベラトールによって誘導される遺伝子の発現プロファイル	
執筆者	
Jones SB, DePrimo SE, Whitfield ML, Brooks JD.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2005 Mar;14(3):596-604.	
キーワード	
レスベラトール、前立腺癌、DNA マイクロアレイ	
要 旨	
<p>レスベラトールはブドウや赤ワインに多く含まれており、赤ワイン摂取が前立腺癌リスクに影響を与えるかどうかを調べるため、ヒト前立腺癌細胞ラインである LNCaP 細胞にレスベラトールを処理し、DNA マイクロアレイ (42000 スポット) で遺伝子発現を見た。LNCaP 細胞にレスベラトールを処理して 6 時間後、1600 以上の転写産物の発現が時間依存的に変化した。最も顕著であったのが前立腺特異的抗原やアンドロゲン受容体を含むアンドロゲン経路における多くの重要な遺伝子の発現の変化であった。レスベラトールは細胞周期や細胞周期のあらゆる段階に関わる増殖特異的遺伝子を負に制御し、細胞周期がサブ G1 や S 期で停止した細胞を増加させ、時間またレスベラトールの濃度依存的に細胞増殖を阻害することが明らかになった。以上より、レスベラトールはアンドロゲン経路や細胞周期の制御に変化を与え、前立腺癌に抗癌活性をもたらす可能性があることが示唆された。</p>	